

ドローン操縦者育成 浜松市が庁内スクール

小型無人機(ドローン)の操縦可能な職員を養成する浜松市の庁内ドローンスクールの第2回講座が6日、市役所で開かれた。職員が関係法令や機体の特徴などの基礎知識を学

浜松



んだ。

民間会社で機体製作などに当たってきた静岡理工科大機械工学科特任講師の田村博さん



田村さんの解説に耳を傾ける浜松市職員。同市役所

が、電波法や航空法など多岐にわたる関連法令を解説し、機体の特徴を踏まえた上で安全上の手続きや心構えなどを伝えた。

同市の庁内ドローンスクールは各分野で活用ができる職員の養成を目指し、本年度から始めた。土木建築、観光、広報、農業関連など多彩な部門や天竜区などから希望する職員

計37人が参加している。8月には実機を使った操縦訓練を実施する予定。